

静岡県教育委員会

議事録

平成 30 年度 第 18 回定例
2 月 6 日（水）

静岡県教育委員会教育長 木苗直秀は、

平成 31 年 2 月 6 日に教育委員会第 18 回定例会を招集した。

- | | | | | |
|---|-----------|---|----|-----------|
| 1 | 開催日時 | 平成 31 年 2 月 6 日 (水) | 開会 | 13 時 30 分 |
| | | | 閉会 | 14 時 00 分 |
| 2 | 会 場 | 教育委員会議室 | | |
| 3 | 出席者 | 教 育 長 木 苗 直 秀 委 員 渡 邊 靖 乃 委 員 藤 井 明 時 委 員 小 野 澤 宏 時 | | |
| | 事務局 (説明員) | 鈴 木 一 吉 教育部長 渋谷 浩 史 理事 (総括担当) 赤 石 達 彦 理事兼社会教育課長 若 月 伸 隆 教育総務課長 赤 堀 健 之 教育政策課長 木 野 雅 弘 財務課長 須 山 智 佐 子 福利課長 宮 崎 文 秀 義務教育課長 小野田 裕 之 高校教育課長 山 崎 勝 之 特別支援教育課長 名 雪 元 健康体育課長 中 川 好 広 文化財保護課長 山 田 貞 己 静岡教育事務所長 太 田 修 司 静岡西教育事務所長 三 科 守 中央図書館長 塩 崎 克 幸 総合教育センター所長 | | |

4 その他

- (1) 第 41 号議案は原案通り可決された。
- (2) 報告事項 1 は了承された。

【開 会】

教 育 長： ただ今より、教育委員会定例会を開催する。
今回の議事録の署名は、私のほか、小野澤委員にお願いする。

【非公開の決議】

教 育 長： 議案の審議に入る前に、本定例会の議案の取扱いについて諮る。
第 41 号議案及び報告事項 1 は議会提出前案件であるため、非公開と
したいと思うが、異議はないか。
全 委 員： 異議なし。
教 育 長： それでは第 41 号議案及び報告事項 1 は非公開とする。

<非>第 41 号議案 平成 31 年 2 月県議会定例会に提出する議案

教 育 長： 第 41 号議案「平成 31 年 2 月県議会定例会に提出する議案」について、木野財務課長より説明願う。
財 務 課 長： <議案についての説明>
教 育 長： 質疑等はあるか。
藤 井 委 員： 人件費について、15 億円の減少となっているが、それだけ教職員数が減っているということか。
財 務 課 長： 人件費は一人当たり約 1,000 万円として計算しているため、約 150 人の減ということになるが、単純な人数減だけではなく、高年齢層から弱年齢層への切り替わりによる手当額の減等も含まれている。
藤 井 委 員： 教職員はそんなに減っているのか。
義務教育課長： 少子化により生徒数、クラス数が減となっているため、必然的に教職員数も減となる。
藤 井 委 員： 少子化に伴う減少だということは理解しているが、ただ減っているだけなのか。資料から読み取れる部分はないが、政策的な要因による増員等はないのか。政策的に増やしている部分が一番重要であると思う。
財 務 課 長： これについては、後ほど詳細な内訳について報告する。
藤 井 委 員： 承知した。2 枚目の資料に、県立学校等施設整備事業費で 18 億減となっているが、これは単純に件数の違いによる減か。
財 務 課 長： そうである。
藤 井 委 員： トンガッタ学校作りに関する準備経費のようなものは、新年度予算に計上できているか。
教 育 部 長： 後ほど組織に関する説明も行うが、高校教育課の中に室長ポストを作り、その下に職員を配置して具体的な検討をしていく。トンガッタ学校作りと合わせて、観光、スポーツ、演劇に関する新しい学校についても具体的に検討していく。
財 務 課 長： 予算に関して言えば、資料の 11 ページに魅力ある学校づくり推進事

業のうち、技芸を磨く実学の奨励が該当する。

小野澤委員： 現在、学校の空調設備はどの程度ついているか。

財務課長： 小・中学校は1割程度であるが、国の補助金がついて各市で申請しているため、来年度には8割程度つくのではないかと思う。政令市のように大きいところは、もう1年遅れてしまうが、3年以内には100%になると思う。高等学校は、現状で半分ほど入っているが、まず特別支援学校を優先しており、来年度の夏で特別支援学校の普通教室を100%にして、それ以外の部屋についてはその次の年度に対応をする。高校はその次で考えているが、費用としては100億ほどになることが見込まれ、財政協議を行っていく形になる。

藤井委員： 小・中学校は1年で8割ほどまでいくという説明があった。電気工事も大変だという話も聞いたことがあるが、いきなりそこまで改善できるのか。

財務課長： 予算はついているため、実施していく。ただ、業者に確認したところでも、やはり一度に実施するのは難しいということであったため、小分けにして参加可能業者数を増やすなどの工夫は必要であると思う。

教育長： 他に質疑等はあるか。

全委員： (特になし)

教育長： 本案を原案どおり可決することに異議はないか。

全委員： (異議なし)

教育長： 第41号議案は原案どおり可決する。

報告事項1 平成31年2月議会定例会に提出する報告事項

教育長： 報告事項1「平成31年2月議会定例会に提出する報告事項」について、木野財務課長より説明願う。

財務課長： <報告事項についての説明>

教育長： 質疑等はあるか。

全委員： (特になし)

教育長： 報告事項1を了承する。

教育長： 以上で、本定例会の議事はすべて終了した。

これをもって、平成30年度第18回教育委員会定例会を閉会とする。